

政策評価調書（個別票）

【政策ごとの予算額】

政策名	価値共創型の新たな産業を創出する基盤となるイノベーション・エコシステムの形成				番号	20	(千円)									
	予算科目				他に記載のある 個別票の番号	予算額										
	会計	組織／勘定	項	事項		7 年度 当初予算額					8 年度 概算要求額					
政策評価の対象と なっているもの	一般	文部科学本省	科学技術・学術政策推進費	イノベーション・エコシステムの 形成に必要な経費			525, 500					514, 719				
	小 計				一般会計		525, 500				514, 719					
						<		>	の内数	<		>	の内数			
				特別会計												
					<		>	の内数	<		>	の内数				
政策評価の対象と なっていないが、 ある政策に属する と整理できるもの	一般	文部科学本省	国立研究開発法人科学技術振 興機構運営費	国立研究開発法人科学技術振興機 構運営費交付金に必要な経費	21, 22, 23, 25, 27, 28, 29	<	100, 771, 968	>	の内数	<	109, 236, 026	>	の内数			
	一般	文部科学本省	国立研究開発法人科学技術振 興機構施設整備費	国立研究開発法人科学技術振興機 構施設整備に必要な経費	21, 22, 23, 25, 27, 28, 29	<	414, 105	>	の内数	<	2, 078, 568	>	の内数			
	一般	文部科学本省	国立研究開発法人理化学研究 所運営費	国立研究開発法人理化学研究所運 営費交付金に必要な経費	24, 25, 27, 28, 29	<	57, 736, 328	>	の内数	<	64, 443, 028	>	の内数			
	一般	文部科学本省	国立研究開発法人理化学研究 所施設整備費	国立研究開発法人理化学研究所施 設整備に必要な経費（新規）	25, 27, 28, 29	<		>	の内数	<	4, 841, 000	>	の内数			
	小 計				一般会計											
						<	158, 922, 401	>	の内数	<	180, 598, 622	>	の内数			
					特別会計											
						<		>	の内数	<		>	の内数			
合 計					一般会計		525, 500				514, 719					
						<	158, 922, 401	>	の内数	<	180, 598, 622	>	の内数			
					特別会計											
						<		>	の内数	<		>	の内数			

令和6年度実施施策に係る政策評価書

(文R6-7-1)

施策名	7－1．価値共創型の新たな産業を創出する基盤となるイノベーション・エコシステムの形成		部局名	科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課	作成責任者	池田　一郎
施策の概要	企業、大学、公的研究機関の本格的連携とベンチャー企業の創出強化、「地方創生」に資するイノベーションシステムの構築等を通じて、人材、知、資金があらゆる壁を乗り越え循環し、イノベーションが生み出されるシステム構築を進める。				政策評価 実施時期	令和6年度
達成目標及び測定指標		（別添１）「科学技術分野の政策体系等」のとおり				
施策の実施状況		（別添２）「科学技術分野の施策の実施状況（7－1）」のとおり				
施策目標に係るレビューシート		https://www.mext.go.jp/a_menu/kouritsu/detail/1334066.htm				
評価結果	施策の評価 【有効性の観点から】	本施策は、測定指標を達成するべく着実に実績をあげている。他方で、科学技術・学術審議会産業連携・地域振興部会においては、大学発スタートアップ創出後の研究活動の支援、地域における産学官連携の更なる推進、アントレプレナーシップ教育の更なる認知度の向上といった意見も頂いており、企業等とスタートアップを接続させる仕組みや、社会課題解決に向けた産学官連携を加速化させる支援体制、人材育成の推進に課題が見られる。				
	今後の施策への反映の方向性	「グローバル課題への対応」と「国内の社会構造の改革」を進めていくために、令和4年2月に策定した「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ」の充実に向けた取組を進め、地域の中核となる大学が強みや特色を最大限に活かし、発展できるような大学のミッション・ビジョンに基づく戦略的運営の実現の推進による研究、イノベーションの創出等の強化を図る。 また、企業等とスタートアップのより緊密な連携によるスタートアップ創業後の支援や、若手研究者への地域課題に根差した研究成果・イノベーション創出支援、アントレプレナーシップ教育の質や量の向上を通じて、社会の変革をけん引する大学発スタートアップ創出、飛躍的なイノベーションの創出の実現を目指す。				
学識経験を有する者の意見	KPIの「①大学等及び国立研究開発法人における民間企業からの共同研究の受入額（目標値：2025年度までに、対2018年度比で約7割増加）」については、2021年度実績を外挿しても達成されないように見える。達成見込みがなければ、その要因を検討して、次期の計画につなげるべき。					